

所存

メンタルヘルス

マスタープラン
スタンス

遺憾である

別添

当該 顛末

アカウントビリティー

ございます

標記 あります

おります

従前

カタカナことば
お役所ことば見直しの手引き

富良野市

お役所ことば見直しの手引き作成にあたって

分りやすいことばで伝えよう

本年、市民参加の統一的な基準を定めたルール条例を制定しました。この条例は、市民がまちづくりに参加する機会を保障し、「住んで良かった」と実感できるまちを、市民とともに考え、ともに作りあげていくことをめざしています。市が持つ情報は、市民のもので、積極的に市民に情報を提供し情報を共有することが、まちづくりを進めるための前提となります。

ルール条例では、情報提供や情報共有するための方法や手続きを定めましたが、その情報を説明する文章や言葉が分りにくく、市民に伝わらなければ何にもなりません。

市民は、市が作成する文書や職員が話す言葉に対して「行政用語が多くて分らない」「言い回しが回りくどい」「形式的で堅苦しい、権威的」「お上意識が垣間見える」といったマイナスイメージを持っているといわれます。一般的に、「お役所ことば」と言われます。

そこで、わかりやすく、正確に、しかも悪い印象を与えずに市民に情報を伝える文書づくり、言葉づかいをめざして、「お役所ことば見直しの手引き」を作成しました。

「分りやすく親しみやすい文書づくり、言葉づかい」の参考にしていただけましたら幸いです。

私も市長就任以来「市民が主役のまちづくり」を旨に市政を運営していますので、執行方針をより分りやすくするなど率先して実行していきたいと思っております。

平成 17 年 12 月

富良野市長 高 田 忠 尚

目次

第1章 学習編

外来語の言い換え一覧	1 - 19
お役所ことばの見直し一覧	20 - 29
分りやすい文章をつくるために	30 - 39
1 表現をしぼって簡潔に 5W1H	
2 まわりくどい表現、あいまいなことばは...不信感さえ招く！	
3 相手の立場にたった表現を 読み手はどう思う？	
4 伝える相手を考えて文書を 相手を思い浮かべて！	
5 文体は「です」「ます」体、口語体で 文語体、漢語体は権威的！	
6 カタカナ語には説明を	
7 専門用語、略語は使わない 当たり前に使っていませんか？	
8 敬語の使い方を適切に 度の過ぎる敬語は逆効果	
9 やさしさ、分りやすさを追求しよう！	
分りやすい文書ができたかな？ チェック 25	
分りやすい文書を作るための心のチェック 5	
あなたのお役人度は？	-自己診断テスト-



第2章 実践編

お役所ことば見直しの実践例 平成 17 年度市政執行方針	40
お役所ことば見直しの実践例 議会専決処分報告	41
お役所ことばテスト 1, 2	42

あなたの書く文章、話す言葉は、分りやすいですか？ ことばの点検、確かめ、工夫が大切です！

この手引きは、ことばを工夫する際に、具体的なよりどころ、一つの目安として活用していただきたいと思いますが、一番大切なのは、日ごろから「分りやすく、親しみやすいことばづかい、文書づくりを心がけることです。

「お役所ことば」をことばの上でいくら言い換えても、職員の意識が変わらなければ再び「お役所ことば」が生み出されるでしょう。お役所ことばをなくすには職員の意識の改革が最も必要です。

第1章 学習編

カタカナことばの言い換え一覧

この一覧は、個々のカタカナことば（外来語や和製英語など）を、どのような言い換え語を当てるのがもっとも適切であるのか、また、説明を加えるとしたらどのような表現を選べばよいのか、その目安・よりどころを具体的に示したものです。

「外来語言い換え提案」(国立国語研究所「外来語」委員会)及び「外来語・役所ことば言い換え帳」(編集：杉並区役所、発行：株式会社ぎょうせい)から引用しています。

一覧表の見方

理解度（その意味が国民にどの程度理解されているか）は、星印の数で、大きく4段階に分けて示されています。理解度が低ければ、その外来語は国民の間に十分定着していないということになります。

- 理解する人が国民の4人に1人に満たない段階
(もっとも分りにくい語 言い換え)
- 理解する人が国民の2人に1人に満たない段階
(そのまま用いることは避けたい語 言い換え)
- 理解する人が国民の4人に3人に満たない段階
(定着しつつあるが、幅広い層に理解してもらう必要がある場合には言い換えに配慮する)
- 理解する人が国民の4人に3人を超える段階
(十分に定着し、用いることに大きな問題がない語)

世代による理解度の違いに配慮する

星印による理解度は、「国民全体」及び「60歳以上」の区分で示されています。国民全体で見れば定着しているかに見える語であっても、60歳以上には定着していない語があります。書きことば、話し言葉ともに、伝える相手を考えて「外来語」を言い換えて使用するなどの配慮が必要です。作成する資料等は、配布対象を考えた言い換えや説明を加えるなどの配慮が必要です。

言い換え語は外来語の言語に対するものではないことに注意

示されている「言い換え語」や「意味説明」は、あくまでも実際に日本語の中で使われている外来語に対するものであり、外来語の元の言語である原語の意味・用法をそのまま反映しているわけではありません。

- 例 パーチャル
- | | |
|-------|--|
| 言い換え語 | 仮想 |
| 意味説明 | 現実そっくりにつくられ、あたかも現実の世界であるかのような様子 |
| 原語の意味 | 英語 virtual は、表面上は違うが実質そのものである様子を意味し、「実質上」などと訳されている。外来語「パーチャル」は、現実そ |

くりではあるが仮想の世界である様子の意味で用いられ、英語と大きくずれた意味で受け入れられており、言い換え語としては「仮想」が適当である。

場面により言い換え語を使い分ける

同じカタカナことばも、用いられる場面によって意味合いを変えることがあります。そうした意味の広いカタカナことばは、場面によって言い換え語を適切に使い分けることが効果的です。

例 スタンス

「立場」「姿勢」「立ち位置」「立ち方」などの言い換え語例を参考に、その場面や文脈に最もふさわしい表現を選択する。

専門的な概念を伝える場合は説明を付け加える

日本語の中に外来語が取り入れられるとき、特定の分野で専門的に用いられることから始まる場合があります。その分野内での正確で迅速な伝え合いのためには、外来語を使うことが確かに効果的です。しかし、そうした専門性の高い語を一般の人に対してそのまま使っても、理解されるとは限りません。やさしく言い換えることができればよいのですが、言い換えることで概念があいまいになり、混乱が生じるおそれもあります。

このような、今までの日本語にない、新しい事柄を言い表すために外来語をあえて使用する場合は、「()カッコ」などで、ことばの意味や言い換え語を添える(併記、注記)など、意味を的確に相手に伝える工夫をしましょう。

例 キャピタルゲイン 言い換え語「資産益」 十分に伝わらない可能性あり

- ・経済の専門用語であるが、概念を端的に言い換えることは難しく、一般向けに概念を正確に伝える場合は、説明を付与して用いる必要がある。
- ・売却による利益か値上がりによる利益かの区別ができる場合は、「資産売却益」「資産値上がり益」を使い分けることも考えられる。
- ・株式の譲渡や値上がりによる場合は、「株式譲渡益」「株式値上がり益」などと、内容を具体的に表して、言い換えたり説明を付与したりすることもできる。

そのまま使うことで、人の目をひきつけるなど効果的な場合も

日本語に言い換えが可能だとしても、あえてそのまま使用することで、目新しさを表現し、人の目をひきつけるなど効果的な場合があります。例えば、催物の名称、ポスターやチラシなどに使用する場合などですが、この場合も、ことばの意味や言い換えを何らかの形で併記し、理解しやすい内容にすることが望ましいでしょう。

例 フォーラム 公開討論、討議、議論などを併記

	認知度 A: 国民総体 B: 60歳以上	カタカナ 言葉	言い換え語	意味説明	その他の 言い換え語例	複合語例
ア	A: B:	アーカイブ	保存記録 記録保存館	個人や組織が作成した記録や資料を、組織的に収集し保存したもの。またその施設や機関。	記録 資料 公文書館 文書館 資料館	デジタルアーカイブ = 保存電子資料 電子資料館 フィルムアーカイブ = 保存映画資料 映画資料館
	A: B:	アイデンティティー	独自性 自己認識	他者とは違う独自の性質。また、自分を他者とは違うものとする明確な意識。	自己同一性 帰属意識	アイデンティティークライシス = 自己認識の危機 ナショナルアイデンティティー = 国家像 国家帰属感 コーポレートアイデンティティー = 企業イメージの統一
	A: B: (和製英語)	アイドリングストップ	停車時エンジン停止	駐停車の間、車のエンジンを止めること		
	A: B:	アウトソーシング	外部委託	業務の一部を外部に委託すること	外注 外部調達	
	A: B:	アカウントビリティ	説明責任	行政や企業などが社会に対して事業に関する情報をいつでも開示し説明できるようにしている責任		
	A: B:	アクションプログラム (アクションプラン)	実行計画	実行に移すための具体的な計画	行動計画 実行手順	
	A: B:	アクセス	(1) 接続 (2) 交通手段 (3) 参入	(1) 情報に接近し利用すること (2) 交通や連絡の便 (3) 市場に入り込むこと	(1) 接近 利用 (2) 交通の便 連絡	交通アクセス = 交通手段
	A: B:	アジェンダ	検討課題	公式に取り組むべき検討課題	議題 行動計画	
	A: B:	アセスメント	影響評価	事業が周囲に与える影響を評価すること	事前評価 再評価 評価 査定	環境アセスメント = 環境影響評価 リスクアセスメント = 危険事前評価 時のアセスメント = 事業再評価 政策アセスメント = 政策評価 自動車アセスメント = 自動車の安全性能評価 ライフサイクルアセスメント = 製品の循環過程における環境影響評価
			アダプトプログラム	言い換えが困難なため説明を要する	市民と行政が協働で進める新しい「まち美化活動」	
		アドバンテージ	有利性 長所	有利な点 優勢 長所 利益		

	認知度 A: 国民総体 B: 60歳以上	カタカナ 言葉	言い換え語	意味説明	その他の 言い換え語例	複合語例
ア	A: B:	アナリスト	分析家	ある専門分野の情勢を分析する人	専門家 分析専門家	
		アプリケーション	特にないため説明を要する	文書の作成、印刷、送信・受信など、パソコンで具体的な作業を行うためのソフトウェアのこと。		
		アプローチ	取組 接近すること	取組 接近すること 働きかけ 研究方法 建物等に通じる道		
	A: B:	アメニティー	快適環境 快適さ	居住空間における快適さ	快適空間 住み心地のよさ 居心地のよさ	
イ	A: B:	イニシアチブ	(1)主導 (2)発議	(1) 自ら率先して先頭に立ち他を導くこと (2) 率先して提唱する政治の方針	(1) 率先 主導権 (2) 構想 行動計画 住民発議	
	A: B:	イノベーション	技術革新	経済や産業などの発展につながる、技術や仕組みの革新	経営革新 事業革新 革新	
	A: B:	インキュベーション	起業支援	新規に事業を起こす支援をすること	起業家育成 新規事業支援 創業支援	インキュベーター = 独自の創造性に富んだ技術・経営ノウハウ等を持つ中小企業の起業家意欲に対し、場所、資金、人材などを提供して、新たな産業創出の場と機会を与える方法やその機関、施設。
	A: B:	インサイダー	内部関係者	集団内部の事情に通じている人	会社関係者 内部者 部内者	インサイダー情報 = 内部情報 インサイダー取引 = 内部取引 インサイダー規制 = 内部取引規制
	A: B:	インセンティブ	意欲刺激	ものごとに取り組む意欲を報酬を期待させて外側から高める働き	誘因 動機付け 奨励金 報奨金 意欲	
	A: B:	インターンシップ	就業体験	学生が企業などで仕事を体験しながら研修すること	体験就業 就業実習 専門実習	
	A: B:	インタラクティブ	双方向的	送り手と受け手が双方向に作用し合う様子	対話的	
		イントラネット	言い換えが困難なため説明を要する	インターネット標準の技術を用いて構築された企業内コンピュータ・ネットワークのこと。		
	A: B:	インパクト	衝撃	受け手に与える強い影響	印象 影響 迫力	

	認知度 A: 国民総体 B: 60歳以上	カタカナ 言葉	言い換え語	意味説明	その他の 言い換え語例	複合語例
イ	A: B:	インフォーム ドコンセント	納得診療 説明と同意	十分な説明を受けた 上での同意		
		インフォーメ ーション	受付 案内所 情報	受付 案内所 情報		
	A: B:	インフラ (インフラストラ クチャー)	社会基盤	交通、通信、電力、 水道、公共施設など 社会や産業の基盤と して整備される施設	産業基盤 交通基盤 通信基盤 基盤	
エ		エコ	環境 生態系	環境 生態系 生物と生物の関係、 生物とそれを取り巻く 環境を指す。		
	A: B:	エンパワーメ ント	能力開化 権限付与	本来持っている能力 を引き出し、社会的 な権限を与えること	権限委譲	
	A: B:	エンフォース メント	法執行	法律などを実際に守 らせるようにすること	執行 取り締まり 強制 強制執行	法のエンフォースメント = 法執行 ピースエンフォースメント = 平和強制
オ		オーソライズ	公認	公認する。 権限を与える。 正当と認める。		
		オストメイト	言い換えが困 難なため説明 を要する	人工肛門 人工膀胱保持者		
	A: B:	オピニオン リーダー	世論形成者	世論に影響力を持つ 人	世論主導者 世論リーダー 論客	
	A: B:	オブザー バー	(1)陪席者 (2)監視員	(1)会議などで議決権 はないが、ある目的 のために参加を許さ れた人 (2)国際間の取り決め などでルールが正し く守られているかを監 視する人	(1)意見参考人 傍聴人 観察者 (2)監督者 審判員 視察者 観察者	オブザーバー参加 = 陪席参加 傍聴参加 オブザーバー資格 = 陪席資格 傍聴資格
	A: B:	オンデマンド	注文対応	注文に応じて速やか にサービスを提供す ること	受注対応 注文即応 受注生産	オンデマンド出版 = 注文出版 オンデマンド印刷 = 注文印刷
	(スウェーデン語)	オンブズマン	言い換えが困 難なため説明 を要する	行政に対する苦情や 要望などを処理し、 行政を監視する役割 を担う人々。		
カ		ガイダンス	指針 目標 方針 手引き	政策などの指針・基 本線。		

	認知度 A: 国民総体 B: 60歳以上	カタカナ 言葉	言い換え語	意味説明	その他の 言い換え語例	複合語例
カ	A: B:	ガイドライン	指針	政策などを運用するための指針や手引き	運用指針 手引き	
	A: B:	カウンター パート	対応相手	交渉や共同作業を進める際の、互いに対等な地位にある相手	同格対応相手 同格者 受入担当者 受入担当機関	
	A: B:	ガバナンス	統治	組織が自らをうまく統治すること	企業統治 統治能力	コーポレートガバナンス = 企業統治 グッドガバナンス = 良い統治 良き統治 良好統治
		カンファレンス	協議会 同盟 会議 相談			ケースカンファレンス = 事例診断
キ	A: B:	キャッチアップ	追い上げ	優位なものに対して 追い上げ追い付くこと	追い付くこと	
	A: B:	キャピタルゲイン	資産益	資産の売却や値上がりによる収益	資産収益 資産売却益 資産値上がり益	
ク	A: B:	グランドデザイン	全体構想	全体を長期的、総合的に見わたした構想		
		グループプログラム	言い換えが困難なため説明を要する	様々な集団の目的に合わせた指導を行う活動。		
		グループワーク	言い換えが困難なため説明を要する	何人かで1つのテーマについて話し合い、理解を深めたり結論を導いたりすること。		
		クレーム	意見要望 苦情 異議申立			
	A: B:	グローバリゼーション	地球規模化	ものごとの規模が国家の枠組みを越え、地球全体に拡大すること	地球一体化 全球化	
	A: B:	グローバル	地球規模	ものごとの規模が国家の枠組みを越え、地球全体に拡大している様子	全地球的 全球的	グローバル企業 = 多国籍企業 超国籍企業 超国家企業 グローバル経済 = 地球経済 世界経済 グローバル社会 = 地球社会 全世界 グローバルスタンダード = 世界標準

	認知度 A: 国民総体 B: 60歳以上	カタカナ 言葉	言い換え語	意味説明	その他の 言い換え語例	複合語例
ケ	A: B:	ケア	手当て 介護	放っておくことができないものへの手当て	看護 手入れ	デイケア = 日帰り療養, 通所リハビリ メンタルヘルスケア = 心の健康づくり ケアプラン = 介護サービスの計画 ターミナルケア = 末期医療 プライマリーケア = 初期医療
		ケアマネージャー	介護支援専門員	要介護・要支援の認定を受け、介護保険を利用する高齢者の相談に応じて、本人の代わりに介護サービス計画を作成する人。		
	A: B:	ケーススタディー	事例研究	ある問題の具体例を詳しく分析して、一般的な真実を導き出す研究方法		
コ	A: B:	コア	中核	ものごとの中核となるもの	核 中心	コア指数 = 核指数 コアビジネス = 中核事業 コアタイム = 拘束時間帯 コアコンピタンス = 得意技術 得意分野
		コーディネーター	調整担当者			
		コーポラティブ住宅	言い換えが困難なため説明を要する	共同で組合を作り、土地を購入し、各自が好きなように間取りを考え、設備も建設、管理も共同で行う住宅のこと。		
		コストパフォーマンス	費用対効果	原価あたりの効用		
	A: B:	コミット	(1) かかわる (2) 確約する	(1) 責任をもって深くかかわること (2) 責任ある関与を明言し約束すること	関与する 参与する	
	A: B:	コミットメント	(1) 関与 (2) 確約	(1) 責任ある関与 (2) 責任ある関与を明言した約束	(1) かかわり (2) 公約	コミットメントライン = 融資枠
	A: B:	コミュニケ	共同声明	国際会議での合意内容を表した公式文書	公式声明	共同コミュニケ = 共同声明
A: B:	コミュニティー	地域社会 共同体	居住地や関心を共にすることで営まれる共同体	地域共同体 地域 社会	地域コミュニティー = 地域社会 コミュニティービジネス = 地域事業 コミュニティーバス = 地域バス コミュニティーFM局 = 地域FM局 コミュニティーセンター = 交流会館 コミュニティールーム = 地域交流室	

	認知度 A: 国民総体 B: 60歳以上	カタカナ 言葉	言い換え語	意味説明	その他の 言い換え語例	複合語例
コ	A: B:	コラボレー ション	共同制作	異分野の者同士が、 力を出し合って共同 で作り上げること	共同事業 共同研究 共同作業 協働	
	A: B:	コンセプト	基本概念	事業や開発を進める 際の、基本となる考え 方	基本理念 基本発想 概念	基本コンセプト = 基本概念 コンセプトカー = 試作車 コンセプトモデル = 試作モデル
	A: B:	コンセンサス	合意	意見の一致		
	A: B:	コンソーシア ム	共同事業体	ある目的のために形 成された複数の企業 や団体の集まり	共同研究体 共同企業体 企業連合	
	A: B:	コンテンツ	情報内容	電子媒体を通してや りとりされる情報の内 容	内容 中身 番組	
	A: B:	コンファレン ス	会議	特定の問題について 検討する会議	検討会議 研究会議 症例検討会	
	A: B:	コンプライア ンス	法令遵守	企業などが法令や規 則をよく守ろうとする こと	服薬遵守 遵守	
		コンポスト	堆肥	特に生ごみや下水の 汚泥などで作った堆 肥		
	(独語)	コンメンター ル	逐次解釈	法律の逐次解釈 法律の解説書		
サ	A: B:	サーベイラン ス	調査監視	継続的な調査によっ て事態の成り行きを 厳しく見張ること	監視	
	A: B:	サプライサイ ド	供給側	経済における物資や 商品を提供する側	供給重視 業界	サプライサイドエコノミクス = 供給重視の経済学
	A: B:	サマリー	要約	議論や情報などの重 要な部分だけを簡潔 にまとめたもの	要旨 総括 概要	議長サマリー = 議長総括 マーケットサマリー = 市場概要
シ	A: B:	シーズ	種(たね)	将来に大きな発展を 予想させる新技術	種子 技術の種(た ね)	技術シーズ = 技術の種(たね)
	A: B:	シェア	(1) 占有率 (2) 分かち合う 分け合う	(1) 商品の市場全体 に占める割合 (2) ひとつのものを分 かち合い共有するこ と ひとつのものを何 人かで分けること	(1) 市場占有率 (2) 共有する 分担する 分配する	(1) トップシェア = 市場占有率第一位 (2) ワークシェアリング = 仕事を分け合うこと

	認知度 A: 国民総体 B: 60歳以上	カタカナ 言葉	言い換え語	意味説明	その他の 言い換え語例	複合語例
シ		シェルター	緊急避難場所			
		シノブシス	あらすじ	小説や演劇・戯曲などのあらすじ		
	A: B:	シフト	移行	場所や配置がそれまでと変わること	切り替え 転換	
	A: B:	シミュレーション	模擬実験	計算や模擬装置などで起こり得る状況をさまざまに想定して行う実験	想定実験 模擬行動 模擬訓練	シミュレーション実験 = 模擬実験 想定実験
		シンクタンク	政策研究機関 調査研究機関 頭脳集団	社会問題の調査分析と、解決のための提言を行う研究機関	調査研究機関	
ス	A: B:	スキーム	計画	体系だった公的な計画	枠組み	
	A: B:	スキル	技能	訓練によって身につけることができる技術上の能力	技術 能力 習得技能	スキルアップ = 技能向上
	A: B:	スクーリング	登校授業	通信教育課程で、一定期間義務づけられた、登校による授業	面接授業 実地教育	ホームスクーリング = 在宅教育
		スクラップ・アンド・ビルド	再構築	機構を新設する場合、既存の機構を改廃し、全体として機構の増大を防ごうとすること。		
	A: B:	スクリーニング	ふるい分け	ふるいにかけて条件に合うものを選び出すこと	選別 選別検査 選抜	
	A: B: (和製英語)	スケールメリット	規模効果	規模を大きくすることで得られる効果	規模の利益 規模利益 規模拡大効果	
	A: B:	スタンス	立場	物事に対するときの立場や取り組む姿勢	姿勢	
	A: B:	ステレオタイプ	紋切り型	物事の見方や表現方法が型にはまっただけで新鮮味がないこと。また、その様子。	型どおり 類型 固定観念 画一的	ステレオタイプの = 類型的 画一的 ステレオタイプ化 = 類型化 画一化
	A: B:	ストックヤード	一時保管所	一時的に保管しておく場所	保管所	

	認知度 A: 国民総体 B: 60歳以上	カタカナ 言葉	言い換え語	意味説明	その他の 言い換え語例	複合語例
ス		ストレッチャー	移動式寝台車	患者等を搬送する際に使用する車輪付の寝台車		
セ	A: B:	セーフガード	緊急輸入制限	特定の製品の輸入が急増した場合に暫定的に輸入を制限する措置	緊急輸入制限措置	セーフガード措置 = 緊急輸入制限措置
	A: B:	セーフティネット	安全網	経済的な危機に陥っても最低限の安全を保障してくれる社会的な制度や対策	安全保障制度 安全対策	
	A: B:	セカンドオピニオン	第二診断	はじめに相談した専門家とは別の専門家の意見を聞くこと	第二意見 別の医師の意見 別の弁護士の意見	
	A: B:	セキュリティー	安全	犯罪などから安全を守ること	安全性 防犯 保安	サイバーセキュリティー = インターネット社会の安全性 ホームセキュリティー = 家庭向け防犯 ナショナルセキュリティー = 国家安全保障 セキュリティーポリシー = 情報の安全対策指針
	A: B:	セクター	部門	産業などにおいて、いくつかの部門を分けたときのひとつ	区域	第三セクター = 半官半民 半官半民企業
	A: B:	セットバック	壁面後退	建物を道路などから後退させて建てること。また、建物の上の階を下の階より後退させて建てること。	敷地後退 後退建築 後退	
	A: B:	ゼロエミッション	排出ゼロ	工場などで排出物をゼロにすること	廃棄物ゼロ ごみゼロ 完全再利用	
		ゼロベース	根本からの再査定	予算をすべてゼロに戻して査定しなおすこと。		
ソ		ソフト	情報 サービス 無形のもの コンピューターのプログラム	無形・非物的なもの。コンピューターのプログラム。		
	A: B:	ソリューション	問題解決	顧客の抱える問題に解決策を提案し問題解決を支援すること	解決支援 解決策	ソリューションビジネス = 問題解決型事業 ソリューションサービス = 解決支援サービス
タ	A: B:	タイムラグ	時間差	ふたつのことからの間に生じる時間のずれ	遅れ	

	認知度 A: 国民総体 B: 60歳以上	カタカナ 言葉	言い換え語	意味説明	その他の 言い換え語例	複合語例
タ	(和製英語)	ダイヤルイン	直通電話	交換を通さない直通方式の電話		
	A: B:	タスク	作業課題	処理しなければならない作業課題	課題 作業 処理	マルチタスク = 多重処理 複数作業の同時処理
	A: B:	タスクフォース	特別作業班	特定の課題について短期間で解決をはかるために特別に編成された集団		
	A: B:	ダンピング	不当廉売	公正な競争を妨げるほど不当に安い価格で販売すること		
ツ	A: B:	ツール	道具	目的の実現のための便利な道具	手段	支援ツール = 支援の道具 支援手段 コミュニケーションツール = コミュニケーションの手段 伝達手段
テ	A: B: (和製英語)	デイサービス	日帰り介護	施設における日帰りの介護サービス	日帰りサービス 通所介護	
		ディベート	討論 討議 討論会	定められたルールに従い、対応する二組が肯定する側と否定する側に立って討論するもの。		
	A: B:	デジタルデバイス	情報格差	情報技術を利用できる層とできない層との、入手できる情報の量や質の格差		
	A: B:	デフォルト	(1)債務不履行 (2)初期設定	(1)債務が履行できない状態 (2)コンピューターなどで利用者が特に設定を行わない場合に、あらかじめ用意されている設定	(1)不履行	(2)デフォルト設定 = 初期設定
	A: B:	デリバリー	配達 宅配	必要なものを必要とする人や場所などに届けること	宅配 配送	コントロールドデリバリー = 泳がせ捜査 ドラッグデリバリーシステム = 薬物送達システム 薬剤を患部に直接運ぶ治療法
ト	A: B:	ドクトリン	原則	公式に宣言される政策の基本原則	基本原則 政策原則	
		ドメスティック・バイオレンス(DV)	家庭内暴力 配偶者間暴力	配偶者や恋人等親密な関係にある、またはあった異性から振られる暴力。		

	認知度 A: 国民総体 B: 60歳以上	カタカナ 言葉	言い換え語	意味説明	その他の 言い換え語例	複合語例
ト	A: B:	トレーサビリティ	履歴管理	生産流通の履歴を管理し追跡できる仕組み	履歴管理制度 追跡可能性	
	A: B:	トレンド	傾向	ある方向へ変化していく、全体的な傾向	動向 流行	
		トワイライト型	長時間開所型	保育園を長時間開所し、夜間などの一時受け入れを可能とするなどの運営方式。		
ナ		ナノテクノロジー	超微細領域技術	10億分の1メートル単位のサイズの大きさを扱う技術領域。 ナノメートル=100万分の1mm		
ノ	A: B:	ノーマライゼーション	等生化 等しく生きる社会の実現	障害のある人も、一般社会で等しく普通に生活できるようにすること	共生化 福祉環境作り	
	A: B: (和製英語)	ノンステップバス	無段差バス	出入り口が低く段差の小さいバス	低床(ていしょう)バス	
		ノンストップサービス	年中無休サービス	利便性の高い場所に設置された365日24時間の行政サービス。		
ハ	A: B:	バーチャル	仮想	現実そっくりにつくられ、あたかも現実の世界であるかのような様子	仮想世界	バーチャルモール = 電子商店街 バーチャルリアリティー = 仮想現実 人工現実感
	A: B:	パートナーシップ	協力関係	共同で何かを行うための対等な協力関係	提携 共同経営体	
	A: B:	ハーモナイゼーション	協調	国際間で制度などの調和を図ること	調整 国際協調 制度調和	
		バイオマス	生物エネルギー	エネルギーや原料に使用することができる動植物資源、およびそれらを起源とする廃棄物の総称。		
	A: B:	ハザードマップ	災害予測地図 防災地図	防災を目的に災害に遭う地域を予測し表示した地図	災害危険予測地図	火山ハザードマップ = 火山災害の予測地図 火山の防災地図 洪水ハザードマップ = 洪水災害の予測地図 洪水の防災地図

	認知度 A: 国民総体 B: 60歳以上	カタカナ 言葉	言い換え語	意味説明	その他の 言い換え語例	複合語例
ハ	A: B:	バックアップ	(1)支援 (2)控え	(1)他人の行動をうし るだてとなって支援 すること (2)事故にそなえて控 えを作ること。また、 その控え。	(1)援護 うしるだて (2)予備 複製	
	A: B:	バックオフィ ス	事務管理部門	前面に出ることなく後 方で事務や管理業務 を行う部門	事務部門 管理部門 間接部門	バックオフィス部門 = 事務管理部門 バックオフィス業務 = 事務管理業務
		パネルディス カッション	言い換えが困 難なため説明 を要する	専門知識を持つ数人 が討論し、その後に 聴衆と一緒に討論す る形式の公開討論 会。		
		パブリシティ	情報提供活動	特にマスコミ媒体を 使って行われる情報 提供活動の1つ。		
	A: B:	パブリックイン ボルプメント	住民参画	行政による計画の策 定を住民や市民の参 加を積極的に募って 行うこと	市民参画	
	A: B: (和製英語)	パブリックコメ ント	言い換えが困 難なため説明 を要する	行政による施策を原 案段階で公表し、市 民一般から意見を募 り、その上で意志決 定を行う手続	意見提出手続 意見公募 一般から提出さ れた意見 市民の意見	パブリックコメント手続 = 意見提出手続
	A: B:	バリアフリー	障壁なし	体の不自由な人でも 支障なく活動できるよ うな生活環境	無障壁 段差なし	バリアフリー化 = 無障壁化 障壁除去
		バロメーター	指標 評価基準			
ヒ		ピアカウンセ リング	言い換えが困 難なため説明 を要する	障がい者が自ら体験 に基づいて他の障が い者の相談に応じ、 問題解決を図ろうと すること。		
		ヒートアイラン ド	大都市の気温 上昇	都市中心部が郊外に 比べて気温上昇する 現象のこと。		
		ビオトープ	小生活園 自然生態園	地域の植物、小動 物、昆虫、鳥、魚など が共生できる生物生 息空間を保全、造 成、復元した場所。		
	A: B:	ビジョン	展望	将来、望まれるものと して、心に描く展望	画面	

	認知度 A: 国民総体 B: 60歳以上	カタカナ 言葉	言い換え語	意味説明	その他の 言い換え語例	複合語例
フ		ファシリテーター	まとめ役	議論を容易にする人。会議の参加者が対等な立場で意見を自由に出し、民主的な会議が進むように行動する進行役。		
		ファンド	基金 資金			
		フィードバック	反映	事業の結果を事業本体に反映し、事業の評価と修正、中止等に生かしていこうという考え方。		
	A: B:	フィルタリング	選別	必要なものと不要なものをより分けること	情報選別 より分け	
	A: B:	フェローシップ	研究奨学金	研究者を支援する奨学金	研究奨学生資格	
	A: B:	フォローアップ	追跡調査	実施状況などを追跡調査し必要に応じて手当てすること	事後点検 後の手当て	
		ブックスタート	言い換えが困難なため説明を要する	乳幼児のいる家庭に絵本を贈る事業。または、乳幼児に本を通して心の言葉の発達を手助けする運動。		
		プライオリティ	優先事項	優先権。物事に優先順位をつけること。		プライオリティーシート = 優先席 (従来のシルバーシート)
	A: B:	プライオリティー	優先順位	他の物事よりも重要性が高いものとして優先する度合い	優先権 真っ先にすべきこと	
		フラッシュアイ	自発光式交差点鏡	交差点の発光式目印		
	A: B:	ブレイクスルー	突破	技術などの行き詰まりを突破すること	難関突破 打開 飛躍的前進 躍進 突破口	
	A: B:	フレームワーク	枠組み	何かを行うときの大本になる基本的な枠組み		
A: B:	プレゼンス	存在感	政治・経済や軍事で強い組織が与える存在感	存在 展開 軍事展開	軍事プレゼンス = 軍事展開	

	認知度 A: 国民総体 B: 60歳以上	カタカナ 言葉	言い換え語	意味説明	その他の 言い換え語例	複合語例
フ	A: B:	プレゼンテーション	発表	企画や発案などを分かりやすく発表すること	説明 提示 提案	
	A: B:	フレックスタイム	自由勤務時間制	始業や終業の時間を従業員が自由に選択できる就業方法	時差勤務	フレックスタイム制(度) = 自由勤務時間制(度)
		ブロードバンド	広帯域通信	光ケーブルやADSLなどのより高速な通信。		
	A: B:	プロトタイプ	原型	同類のものの大本になる型	試作モデル 試作品	プロトタイプカー = 試作車
	(仏語)	プロムナード	遊歩道 散歩道			
	A: B:	フロンティア	新分野	豊かな可能性を秘めた未開拓の分野	最前線 最先端	フロンティアスピリット = 開拓者精神 フロンティアスクール = 最先端の学校
ヘ		ペイオフ	預金払い戻し	金融機関が破綻した場合に、預金保険機構が預金を払い戻すこと。		
		ベンチマーク	計測指標 水準点	判断や判定のための基準。		
	A: B:	ベンチャー	新興企業	大企業が行っていない分野で新たな事業を起こす中小規模の企業	起業 起業家	ベンチャー企業 = 新興企業 ベンチャービジネス = 新興ビジネス ベンチャー精神 = 起業精神 ベンチャー支援 = 起業支援 ベンチャーキャピタル = 起業投資 起業投資会社 ジョイントベンチャー = 共同企業体
ホ		ポイント	重点 要点 地点			
	A: B:	ボーダーレス	無境界 脱境界	境界が薄れて存在しない様子。また、そのようになること。	境界なし 無国境 脱国境 国境なし	ボーダーレス化 = 無境界化 無国境化 脱境界 脱国境
		ポータルサイト	言い換えが困難なため説明を要する	インターネットに接続した際に、最初に訪れるページ		
	A: B:	ポートフォリオ	(1)資産構成 (2)作品集	(1)投資を配分してできた資産の組み合わせ。また、その投資の配分。 (2)図画や文章などの作品を集めたもの	(1)投資配分	

	認知度 A: 国民総体 B: 60歳以上	カタカナ 言葉	言い換え語	意味説明	その他の 言い換え語例	複合語例
ホ	A: B:	ポジティブ	積極的	態度や考え方が積極的である様子	肯定的 前向き	
	A: B:	ポテンシャル	潜在能力	潜在的に持っている可能性としての力	可能性 潜在力 潜在的	
	A: B:	ボトルネック	支障	進行の妨げになるものや場所	隘路 障害 妨げ	ボトルネック踏切 = 交通の支障になる踏切 ボトルネック橋梁 = 治水の支障になる橋梁
		ポリシー	指針 方針 政策			
マ	A: B:	マーケティング	市場戦略	販売拡大を目的として、市場に対して戦略的に取り組むこと	市場活動 市場調査 市場分析	マーケティングリサーチ = 市場調査
	A: B:	マクロ	巨視的	全体的な見地からものごとを見る様子		マクロ的 = 巨視的 マクロ面 = 巨視的側面
	A: B:	マスタープラン	基本計画	全体の基本となる計画		
		マニフェスト	政策要綱	具体的な政策目標などを掲げた公約集。	宣言 声明書 政権公約	
	A: B:	マネジメント	経営管理	経営や運営について組織だって管理すること。	運営管理 管理 管理者	アセットマネジメント = 資産運用 ケアマネジメント = 在宅介護支援 リスクマネジメント = 危機管理 マネジメントシステム = 管理システム
	A: B:	マルチメディア	複合媒体	音声・文字・映像など多種類の情報を組み合わせた伝達媒体		
	A: B:	マンパワー	人的資源	特定の仕事にあてがうことのできる人間の働き	労働力 人材	
ミ	A: B:	ミスマッチ	不釣り合い	関係あるふたつの物事の調和が悪く不釣り合いなこと	不適合 不調和	
	A: B:	ミッション	使節団 使命	ある目的のため主に海外に派遣される団体。また、その団体が果たすべき任務。	使節 派遣団 任務	
メ	(仏語)	メセナ	文化芸術支援活動	起業などの様々な文化・芸術支援活動		

	認知度 A: 国民総体 B: 60歳以上	カタカナ 言葉	言い換え語	意味説明	その他の 言い換え語例	複合語例
メ	A: B:	メンタルヘルス	心の健康	心の健康を保つこと	精神保健 精神衛生	メンタルヘルスケア = 心の健康づくり
モ	A: B:	モータリゼーション	車社会化	自家用車の普及・大衆化	車社会	
	A: B:	モチベーション	動機付け	ものごとに取り組む意欲を内側から高める働きかけ	意欲 やる気 士気	
	A: B:	モニタリング	継続監視	継続的に観測して監視すること	監視 観測	モニタリングポスト = 放射線観測装置
	A: B:	モビリティ	移動性	容易に移動できるように、手段や環境が整備されていること	移動利便性 移動やすさ 流動性	ショップモビリティ = お出かけスクーター タウンモビリティ = お出かけスクーター
	A: B:	モラトリアム	猶予	猶予を与えること	債務支払い猶予 猶予期間	
	A: B:	モラルハザード	倫理崩壊	倫理観や道徳的節度がなくなり社会的な責任を果たさないこと	倫理欠如 倫理の欠如	モラル = 道徳
ユ	A: B:	ユニバーサルサービス	全国均質サービス	全国どこにいても均質に受けられるサービス		
	A: B:	ユニバーサルデザイン	万人向け設計	障害者や高齢者なども含め誰にでも使いやすい形に設計すること	誰にでも使いやすい設計	
		ユビキタス	言い換えが困難なため説明を要する	身の回りの家電製品を通じて情報ネットワークに接触できる環境のこと。		
ラ	A: B:	ライフサイクル	生涯過程	生まれてから死ぬまでの過程	一生涯 循環過程	ライフサイクルアセスメント = 製品の循環過程における環境影響評価 ライフサイクルコスト = 製品の生涯費用 製造から廃棄までの費用
		ライフスタイル	生活様式	自己流の生き方		
	A: B:	ライフライン	生活線	生活に不可欠な水道・ガス・電気などの供給路	生命線 命綱 光熱水路	
	A: B:	ライブラリー	図書館	図書などの資料を収集し閲覧に供する施設	資料館 収蔵館 閲覧所 書庫	

	認知度 A: 国民総体 B: 60歳以上	カタカナ 言葉	言い換え語	意味説明	その他の 言い換え語例	複合語例
リ	A: B:	リアルタイム	即時	ふたつのことがらの間に、時間のずれがないこと	同時 同時進行 実時間	
		リーズナブル	手ごろな	手ごろな。割安の。道理に合った。筋のとあった。		
	A: B:	リーフレット	ちらし	宣伝や案内などの目的で配布される多くは一枚刷りの印刷物	パンフレット 手引き 案内	
		リデュース	発生抑制	廃棄物の廃棄抑制をすること。簡易包装や詰め替え容器によって無駄なごみを省くこと。		
	A: B:	リテラシー	読み書き能力 活用能力	情報を的確に読み解き、またそれを活用するために必要な能力	読み解き能力 情報活用能力	情報リテラシー = 情報活用能力 メディアリテラシー = メディア活用能力 グローバルリテラシー = 国際対話能力 コンピューターリテラシー = コンピューター活用能力
	A: B:	リニューアル	刷新	新しく作り直して再生させること	改装 新装 一新	リニューアルオープン = 新装開店、新装開館
		リンク	連結	インターネットのウェブページとウェブページをつなげる仕組み+E73。		
ル		ルーティン	機械的作業	決まりきった仕事。		
レ		レジュメ	要約	講演や研究会などで要約をまとめて印刷した冊子など。		
ロ	A: B:	ロードプライシング	道路課金	環境保護や混雑緩和などを目的に、特定道路の通行や駐車に課金し、交通量を抑制する仕組み	道路課金制度	環境ロードプライシング = 環境道路課金
		ローリング	見直し 改定			
	A: B:	ログイン	接続開始	コンピューターシステムを使うための接続開始の手続き	利用開始 接続 利用 接続登録 利用登録 認証	ログイン名 = 接続登録名 利用登録名

	認知度 A: 国民総体 B: 60歳以上	カタカナ 言葉	言い換え語	意味説明	その他の 言い換え語例	複合語例
ワ	A: B:	ワーキンググループ	作業部会	委員会などの中に設置される, 具体的・実務的な作業や調査をする集まり		
ワ		ワークシェアリング	言い換えが困難なため説明を要する	仕事の分かち合い。労働者一人当たりの労働時間を短くして必要な労働者数を増やすことで雇用機会を増やそうとする考え方。		
	A: B:	ワークショップ	研究集会	専門家の助言を受けながら, 参加者が共同で研究や創作を行う場	参加型講習会 創作集会	
		ワンストップサービス	言い換えが困難なため説明を要する	住民にとって一箇所ですべての用事が簡易な手続きで済むための行政窓口		

お役所ことばの見直し

私たち職員が、普段から何気なく使っていることばも、相手によっては分りにくいと感じていることもあります。

この一覧は、気になるお役所ことばや言い回しを、分りやすく言い換える場合に、どんな表現が適切であるかを示したものです。

言い換え例は、相手、場所等によっては、他の言い方をした方が良い場合もありますし、そのまま使ったほうが良い場合もあります。状況により使い分けを考えてください。

【参考】 外来語・役所ことば 言い換え帳
 編集：杉並区役所区長室総務課 発行：株式会社ぎょうせい
 役所言葉をなくそう！ ～分りやすく親しみやすい文書づくりをめざして～
 昭島市役所言葉見直しプロジェクトチーム

	気になることば	言い換え例	言い回しの例		
あ	～当たっては	～するときは ～の場合	送付に当たっては	送付するときは	
	あらざる	(～で)ない ～以外の	市民にあらざる方は	市民でない方は	
	～あります	～です			
	あんぶん 按分する	～の割合に応じて割り振りをする			
い	～(で)いえども	～(で)あっても	職員といえども	職員であっても	
	いかなる	どのような, どういう	いかなる条件でも	どのような条件でも	
	いかに 遺憾である	残念に思う 申し訳ございません	この事件は、誠に遺憾です。	この事件は、誠に残念です。	
	いかに 如何ともし難く	適切な方法がなく、どうしても……できない			
	いかに 如何を問わず	どのような場合でも	理由の如何を問わず	どのような理由でも	
	いけん 意見具申する	意見を述べる			
	いささかも	少しも			
	いずれ	どれ どの	いずれの場合も	どの場合も	
	～いたしたく	～したいので	～を調査いたしたく、	～を調査したいので、	
	～いたします	～します			
	～いたすべく	～するように	早急に実施いたすべく～	早急に実施するように～	
	いっかつ 一括して	まとめて	一括して処理する	まとめて処理する	
	(～の)一環として	(～の)一つとして	研修の一環として	研修の一つとして	
	いっぽう 一報	お知らせ 連絡	ご一報ください	お知らせください	
	～いるところで ございます	～います	努力しているところで ございます	努力しています	
	いろう 遺漏のないよう	適切に 誤りのないように	遺漏のないよう取り扱う	適切に処理する	
	う	(～の)うえ	～し ～になり	確認のうえ、記入する	確認し、記入する
	え	えい 鋭意	努めて 懸命に		
	お	(～に)おいては	～では ～で	会議室において開催する	会議室で開催する
おこな 行われるよう		していただくよう			
お 追って～する		後日～する 改めて～する	追って連絡する	後日連絡する	

	気になることば	言い換え例	言い回しの例	
お	～おります	～います	実施しております	実施しています
か	かい 解する	分かる 理解する		
	がいとう 該当する	当てはまる	条件に該当する人は～	条件に当てはまる人は～
	～か否かを	～かどうかを	実行するか否かを	実行するかどうかを
	かかる	このような	かかる事情を考慮	このような事情を考慮
	(～に) 係る	(～に) 関する (～に) ついての	～に係る費用	～に関する費用
	かきゅうてきすみ 可及的速やかに	早急に できるだけ早く	可及的速やかに実行する	早急に実行する
	かくはん 各般にわたり	いろいろと		
	かくべつ 格別の	特別の	格別の注意が必要	特別の注意が必要
	かごん 過言	言い過ぎ	過言に注意する	言い過ぎに注意する
	かじつ 過日	先日 先ごろ	過日申請のありました	先日申し込みされました
	かた 方	人	条件に当てはまる方は～	条件に当てはまる人は～
	～かた ～方(について)	～について ～を	出席方願います	出席をお願いします
	～かつ～	～で～	緊急かつ重要な～	緊急で重要な～
	かつあい 割愛する	省略する	この件の説明は割愛します	この件の説明は省略します
	かんあん 勘案して	考慮して	事情を勘案して	事情を考慮して
	か ～下においては	～のもとでは ～では	そのような状況下では	そのような状況のもとでは
	かねてから	以前から あらかじめ	かねてからの懸案事項	以前からの懸案事項
	(～に) かんが 鑑み	～を考慮して ～を参考にして	財政事情に鑑み、	財政事情を考慮して
	かんき 喚起する	呼び起こす 呼び掛ける	注意を喚起する	注意を呼び掛ける
	かんしやう 勧奨する	勧める	口座払いを勧奨する	口座払いを勧める
かんぷ 還付する	返還する 返す	使用料を還付する	使用料をお返しする	
かんよう 肝要	とても重要 とても大切	慎重に進めることが肝要だ	慎重に進めることが重要だ	
き	きいん 起因する	～が原因の ～による	～に起因する事故	～が原因の事故
	ぎぎ 疑義	疑問 問題	疑義のある場合は、	疑問のある場合は、～
	きく 危惧する	心配する		
	き けん 貴見	あなたの意見 ご意見	貴見をお聞かせください	あなたの意見を～

	気になることば	言い換え例	言い回しの例	
き	きぞく 帰属する	～が持っている ～のものである	この物件は～に帰属する	この物件は～のものです
	きそん 毀損する	壊す 損なう 傷つける		
	(～を)きたす	～がある ～をもたらす	～に支障をきたす	～に支障がある
	きたん 忌憚のない	率直な 遠慮のない	忌憚のないご意見を～	率直なご意見を～
	きでん 貴殿	あなた		
	きよう 供する	使う 役立てる ～して	市民の利用に供する施設	市民の利用に役立てる施設
	きようよう 供用	使える 利用できる	会館の供用を開始します。	会館は 日から 利用できます
	きょうりょう 橋梁	橋		
	きこう 挙行	開催する 行う 催す 開く	式典を挙行する	式典を開催する
	きょじゅう 居住する	住んでいる	～地区に居住する市民	～地区に住んでいる市民
	きよ 寄与する	貢献する 役立つ	発展に寄与する	発展に貢献する
きんしょう 僅少	わずか 少し	残部が僅少になった	残部がわずかとなった	
く	くび 具備する	備える 備えている	必要な条件を具備した～	必要な条件を備えた～
	けい 経緯	経過 いきさつ 事情	これまでの経緯を説明する	これまでの経過を説明する
	けつじょ 欠如	欠けている 足りない	注意力が欠如している	注意力が欠けている
	けねん 懸念	心配 おそれ 気掛かり	事故の発生が懸念される	事故の発生が心配される
	げんか 現下の	最近の 現在の	現下の状況	最近の状況
	げんしゅ 厳守	必ず守る	締切りは厳守するように	締切りは必ず守ってください
	けんちよ 顕著	著しく あきらかに	効果が顕著である	効果があきらかである
け	げん 厳に	かたく きつく 厳しく 絶対に	厳に慎むように	絶対にしないように
こ	こ ご案内のとおり	ご承知のとおり	～の件は、ご案内のとおり	～の件は、ご承知のとおり
	こう 講じる	とる 行う する 立てる	対策を講じる	対策を行う
	こうじん 幸甚に存じます	幸いです	～いただけると幸甚に存じます	～していただけると幸いです
	こうよう 高揚する	高まる	市民の意識が高揚する	市民の意識が高まる
	かぎ この限りでない	あてはまらない		
	こんばん 今般	この度		
	こうけん ご高見を拜聴する	貴重なご意見を 聞かせていただく		

	気になることば	言い換え例	言い回しの例	
こ	ご高配 <small>ごこうはい</small>	ご配慮	ご高配をいただき ありがとうございました	ご配慮をいただき ありがとうございました
	ご査収 <small>ごさしゅう</small>	お確かめのうえ、お受け取り ください		
	ご足労 <small>ごそくろう</small>	お出で	会場までご足労願います	会場までお出でください
	ご多忙中恐縮ですが <small>たぼう ちゆきょうしゆく</small>	お忙しいところおそれいります が		
	～(の)ごとく	～のように	ご存知のごとく	ご存知のように
	ご臨席 <small>ごりんせき</small>	ご出席	ご臨席を賜りたく	ご出席くださいますよう
さ	差異 <small>さい</small>	違い	差異が生じる	違いが生じる
	(～に)際し <small>さい</small>	～にあたり	本大会を開催するに際し	この大会を開催するにあたり
	採納 <small>さいのう</small>	受け入れる いただく	寄付を採納しました	寄付をいただきました
	策定 <small>さくてい</small>	つくりあげる 決める	計画を策定する	計画をつくる
	定めるところにより <small>さだ</small>	～に基づき	要綱の定めるところにより	要綱に基づき
	(～を)妨げない <small>さまた</small>	～(することが)できる	再任を妨げない	再任することができる
	さらなる	なお一層の		
	～されたい	～してください	別途協議されたい	あらかじめ協議してください
	～されたく	して下さるよう していただきますように	印鑑をご持参されたく、	印鑑をご持参 して下さるよう
	散見される <small>さんけん</small>	見受けられる 目につく		
	暫時 <small>ざんじ</small>	しばらく	暫時休憩します	しばらく休憩します
	参集 <small>さんしゅう</small>	集まる 来る	会議室に参集する	会議室に集まる
	し	～し得ない <small>え</small>	～できない	同意し得ない
しかしながら		しかし		
しかるに		ところが しかし		
しかるべく		状況に応じて 適切に	しかるべく対応する	状況に応じて対応する
支障のない <small>ししょう</small>		差し支えのない	支障のない範囲で	差し支えのない範囲で
資する		役立つ	事務改善に資する	事務改善に役立つ
次第です <small>しだい</small>		します する考えです	心から感謝する次第でありま	心から感謝いたします
～したく		～したいので	お礼を申し上げたく	お礼を申し上げたいので
～しつつ		～しながら		

	気になることば	言い換え例	言い回しの例	
し	失念する	忘れる		
	～している ところである	～しています		
	～して まいりました	～してきました	行ってまいりました	行ってきました
	事由	理由 原因		
	従前の	これまでの いままでの 従来の	従前の方法	これまでの方法
	充当する	充てる	不足分に充当する	不足分に充てる
	主管課	担当課		
	熟知	十分理解する		
	趣旨にはかり	趣旨に沿って		
	種々の	様々な いろいろな	種々の理由	様々な理由
	主たる	主な 主要な	主たる参加者は小学生	主な参加者は小学生
	竣工する	完成する		
	遵守する	守る	関係法令を遵守してください	関係法令を守ってください
	準用	適用 あてはめる	この規則を準用して	この規則を適用して
	証する	証明する	本人であることを 証するもの	本人であることを 証明するもの
	尚早	早すぎる まだその～ではない	その計画は時期尚早である	その計画は、 まだその時期ではない
	所管する	管理する 管轄する	総務課が所管する事務	総務課が管轄する事務
	植栽する	植える		
	所存である	(～と)考えている(～する)つもり	実施する所存です	実施するつもりです
	所定の	定められた 決まった	所定の様式で	定められた様式で
	諸般の	いろいろな 様々な	諸般の事情により	いろいろな事情により
	所要の	必要な	所要の事項を記入して	必要な事項を記入して
	思慮する	考える 判断する 思う	内容を思慮した結果	内容をよく考えた結果
	シリオウ 思料	考える 判断する 思う	適当であると思料する	適当であると判断します
進達中	手続き中			
伸張を図る	(～を)伸ばす 伸びるよう育てる			
進捗状況	進みぐあい 進行状況	事業の進捗状況は	事業の進みぐあいは	

	気になることば	言い換え例	言い回しの例	
し	しんてん 進展	進む	調査が進展しています	調査が進んでいます
	じあん 事案	事務 事柄	本事案は、	この事柄は、
す	すうじ 数次	数回	数次にわたる改訂	数回にわたる改訂
	～すべく	～するために ～するように	～すべく努力する	～するために努力する
	すみ 速やかに	すぐに 早く 素早い	速やかな対応	すぐに対応
	～することとする	～します	次のように処理することとする	次のように処理します
	～する旨	～するので ～するために	実施する旨お伝えください	実施するのでお伝えください
せ	せいごうせい はか 整合性を図る	矛盾がないようにする	計画との整合性を図り	計画と矛盾ないように
	せき き 責に帰する	責任である		
	ぜせい 是正する	改める 正しくする 適正にする	誤りを是正する	誤りを改める
	ぜんじょ 善処する	努力する 適切に処理する	今後善処します	今後適切に処理します
	ぜんじ 漸次	だんだん しだいに	漸次減少傾向にある	次第に減る傾向にある
	せんぱん 先般	先日 先ごろ 先に	先般完成した施設	先日完成した施設
	せんよう 占用する	使用する		
そ	そうしつ 喪失する	失う	違反は、資格を喪失します	違反は、資格を失います
	そうしゅつ 創出	新しくつくりだす	雇用の創出が不況の打開策	雇を新しくつくりだすことが不況の打開策
	そうち 送致する	送る 送付する	関係種類を送致する	関係書類を送ります
	そきゅう 遡及する	さかのぼる	遡及して適用	さかのぼって適用
	そくおう 即応した	ふさわしい かなった 合った	現状に即応した対応が必要	現状に合った対応が必要
	そん 存じます	思います		
た	たいよ 貸与	貸す		
	たか 多寡	多少 多い少ない	金額の多寡に関わらず	金額の多少に関わらず
	だくひ 諾否	承諾するかしないか	諾否を判断する	承諾するかしないかを判断する
	ただい ただい 多大な 多大なる	多くの たくさんの 数々の	多大なるお力添えを賜り	多くのお力添えをいただき
	たまわ 賜る	いただく	ご指導賜る	ご指導いただく
ち	ちえん 遅延する	遅れる		
	ちくじ 逐次	順次 次々に だんだん	逐次改善します	順を追って改善します

	気になることば	言い換え例	言い回しの例	
ち	ちたい 遅滞なく	遅れることのないよう早急に できるだけ早く	手続きを遅滞なく進める	手続きを遅れることないよう 進める
	ちち 遅々として	なかなか 遅れていて	遅々として進まない	なかなか進まない
	ちようしゆ 聴取する	聴く 聴き取る	事情を聴取する必要がある	事情を聴く必要がある
	ちよう 徴する	求める 要求する		
	ちようふ 貼付する	貼る 貼り付ける	領収書を貼付する	領収書を貼り付ける
	ちようもん 聴聞	意見を聞く		
て	ていしよく 抵触する	触れる		
	ていれん 低廉な	安い		
	てきぎ 適宜	適当 適するように		
	てんまつ 顛末	いきさつ 経過 事情	会議の顛末を話す	会議の経過を話す
と	～といえども	～でも ～といっても	幼児といえども有料です	幼児でも有料です
	とう 等	など	意見や要望等	意見や要望など
	とうがい 当該	この その	当該車両	この車両
	とうかつ 統括する	まとめる	事業を統括しているのは	事業をまとめているのは
	とうき 投棄する	投げ捨てる		
	とうさい 搭載する	掲載する 記載する 載せる	名簿に登載する	名簿に載せる
	とうしゅう 踏襲する	そのまま受け継ぐ	前例を踏襲する	前例をそのまま受け継ぐ
	とうほう 当方の	こちらの	当方の言い訳は	こちらの言い訳は
	とくだん 特段の	特別の 特に 十分		
	とつごう 突合する	突き合わせる 照らし合わせる		
	とみに	にわかに 急に	冬になり、とみに事故が増加	冬になり、急に事故が増加
	な	～ながら	～ですが	お手数ながら
～なきよう		～のないよう	金額の不足のなきよう～	金額の不足のないよう～
なついでん 捺印		押印		
なにとぞ 何卒(なにとぞ)		どうか どうぞ ぜひ	何卒よろしくお願いします	どうぞよろしくお願いします
なん 何ら		少しも～ない 何も	何ら問題はない	少しも問題ない
に	～にあっては	～の場合は	～の申請にあっては	～の申請の場合は

	気になることば	言い換え例	言い回しの例	
に	～にて	～で	窓口にて発行する	窓口で発行する
	～により	～で	疲れにより事故がおきる	疲れで事故がおきる
ね	～ ^{ねが} 願います	～してください	確認願います	確認して下さい
	^{ねんとう} 念頭において	～を考えて ～を考慮して	～を念頭に計画をつくる	～を考慮して計画をつくる
の	のっとり	基づく	規則にのっとり実施	規則に基づき実施
	のみならず	だけでなく	地区住民のみならず 全市民を対象としています	地区住民だけでなく 全市民を対象としています
は	^{はか} 諮る	相談する		
	^{はなは} 甚だ	非常に とても	甚だ残念	とても残念
	(～を) ^{はか} 図られたい	～するようにしてください	指導の徹底を図られたい	指導を徹底するように してください
	(～を) ^{はか} 図るべく～	～するように	健康増進を図るべく、～	健康を増進するように、～
	^{はなは} 甚だ	非常に たいそうに 大変	甚だ残念です	非常に残念です
	^{はんぷ} 頒布する	配布する		
ひ	^{ひっぱく} 逼迫する	行き詰る 差し迫る	財政が逼迫する	財政が行き詰る
	^{ひょうき けん} 標記の件	このこと	標記の件について	このことについて
ふ	^{ふっしょく} 払拭する	取り除く めぐい去る	不安を払拭する	不安を取り除く
	^ふ 踏まえて	参考にして 考えて	集計の結果を踏まえて	集計の結果を参考にして
	^{ふよ} 付与する	与える		
へ	^{へいき} 併記する	あわせて書く ～と～を書く	講師名と経歴を併記する	講師名と経歴を あわせて書く
	^{べってん} 別添	別紙 別冊		
	^{べつと} 別途	改めて 別に	資料は別途配布	資料は改めて配布
	^{へんざい} 偏在する	偏る 偏っている		
	^{へんれい} 返戻する	戻す 返す 返却する 返還する	残金を返戻する	残金を返却する
ほ	^{ほうしつ} 亡失する	亡くす		
	^{ほそく} 補足する	補う	補足して説明する	補って説明する
	^{ほとん} 補填する	補う 埋め合わせる	損失を補填する	損失を埋め合わせる
	^{ほんし} 本市	当市		
	^{ほんけん} 本件	この件 このこと		

	気になることば	言い換え例	言い回しの例	
ま	ますます 益々	ますます		
	まっしょう 抹消	取り消す 消す	登録を抹消しました	登録を取り消しました
み	みりょう 未了	終わっていない	申告が未了の人	申告が終わっていない人
む	(～の)向きは	する人は したい人は	本講座に 参加されたい向きは～	この講座に 参加したい方は～
	(～の)むね 旨	～のことの ～のことも	完了の旨報告します	完了したことを報告します
め	めいさい しょうさい 明細に 詳細に	詳しく		
も	もくと 目途(もくと)する	目標とする 目指す 見込み	10月完成を目途とする	10月完成を目指す
	(～する)もの 者	(～する)人 (～する)方	次に該当する者は、～	次に該当する方は、～
	もっか 目下	ただ今	目下検討中の～	ただ今検討中の～
	ものとする	する	会議で決定するものとする	会議で決定します
ゆ	ゆう 有する	ある もっている	保育士の資格を有する方	保育士の資格を持っている方
	ゆえん 所以である	いわれ 理由 わけ	事業を中止した所以	事業を中止した理由
よ	ようご 擁護する	守る		
	よう 要する	必要とする	連絡を要する	連絡を必要とする
	ようそう 様相	状況 ありさま		
	よじょう 余剰	余り	残金に余剰が生じる	残金に余りが生じる
	～より	～から	9時より	9時から
ら	(ご)らいが 来駕	おいで	来駕される	おいでになる
り	りかん 罹患する	病気にかかる		
	りこう 履行	実施		
	りべん 利便	便利		
	りゅうい 留意	注意 考慮 配慮		
	りょうち 了知	理解 了解 承知		
ろ	ろうえい 漏洩する	漏らす	個人情報を漏洩しないように	個人情報を漏らさないように
わ	わたくしたち 私達	私(わたし)たち		

分りやすい文章をつくるために

～ 正確、平易、簡潔～

公文書は、住民の権利や義務に深く関係していることから、作成するときは、記載内容が正確であるとともに、市民にとって、分りやすい文章にしなければなりません。そのためには、正確、平易、簡潔の3点をこころがける必要があります。

1 表題をしぼって簡潔に 5W1H

文章は正確に相手に内容を伝えることが一番大切です。

しかし、正確に、具体的に伝えようとしてすべてを盛り込もうとすると、だらだらと長くなり、要点が目立たなくなつて、何を伝えたいのか分りにくい文章となつてしまいます。

相手も読む気がなくなつてしまうでしょう。

逆に、要約しすぎると誤解のもとになりますが、誰に対して何をどこまで伝えるか5W1Hを頭において簡潔に書きましょう。

5W1H	
When	いつ
Where	どこで
Who	誰が
What	何を
Why	なぜ、どんな目的で
How	どのように
(How Much いくらで)	

要点1 結論を先に書き、その後に理由や説明、経過などを書く。

要点2 一文一事項(一つの文の中に二つ以上の違う事柄を入れない。)

要点3 一般的に読みやすい文章は、一文50字程度、15文節ほど(文化庁:ことばシリーズ20)。

要点4 接続詞「が」「ので」や中止法を何回も使わない。

要点5 内容が変わるところには段落をつけるか、小見出しで区切る。

例1 証明書は、あなたの権利を保護し、悪用されるおそれが多いので、本人でなければ交付できません。

証明書は、本人でなければ交付できません。この証明書は、あなたの権利を保護するためのもので、悪用されるおそれが多いからです。

例2 市内に住む60歳以上の方で、同居親族がおり、所得が基準内の方は、月 日までに、申請書に住所、氏名、年齢を記入して 課まで提出してください。

次のすべてに該当する方が対象となります。

- ・市内に住む60歳以上の方
- ・同居親族がいる方
- ・所得が基準内の方

申込方法 申請書に住所、氏名、年齢を記入

締め切り 月 日

申込先 富良野市役所 部 課 担当: 電話 39 2300(内2020)

2 まわりくどい表現、あいまいなことはは.....不信感さえ招く！

まわりくどい表現はあいまいで、難しい用語がなくても分かりづらく感じます。また、誤解を招くこともあります。できるだけ具体的に表現します。

配慮するあまりに玉虫色になりすぎて趣旨が分からないことは、市民にそっぽを向かれるばかりでなく、「ごまかそうとしているのではないか」という不信感さえ招きかねません。

ちょっとひと休み

「日本語観察ノート」(井上ひさし氏著)から
~ 官僚文章の癖 ~

「昔からお役人はわけのわからない文章を書くことで知られています。私たち国民が書くものとはまるで肌合いの違う文章を書く。」と書かれ、例として次の4点を挙げられています。

- ・漢語を多く使う
- ・カタカナ英語を多く使う
- ・造語を多く発明する
- ・独特の言い回しをする

要点6 まわりくどい、あいまいな表現はやめ、相手に明確に意図が伝わる文章にする。

例1

「...について十分留意をしながら、推進を図ってまいりたいとこのように考える次第でございますので、よろしくご理解をお願い申し上げます。

「...について十分注意をしながら進めたいと考えています。

今後、ますます脅威が増大するであろうと思われれます。

今後、脅威が増大すると思われれます。(同じ意味の重複、推定のことばの重複)

例2

その特徴とするところは	その特徴は
現在においてさえ	現在でも、現在でさえ
前向きに検討します	(実施できるなら)...します。(いついつまでに)します。(できないなら) ...できません。

可及的速やかに	いついつまでに
善処する	具体的に適切な処置を表現する
鋭意努力する	具体的に努力する内容を表現する
所要の	必要なことを具体的に表現する
若干の	あまり多くないその数量を表現する。

3 相手の立場にたった表現を 読み手はどう思う？

文書も人間同士のコミュニケーションの手段です。いくら正確に文書を書いても、書き方によって、相手側が持つ印象はずいぶん違ってきます。

市の文書は市民に対して一方通行になりがちですので、なおのこと、相手が読んだときにどう思うか、相手の立場にたって文書を作りましょう。

命令的な表現、否定的な表現は、読む人に上下関係を意識させ、不快感を与えますので注意が必要です。

また、自ら主体になって行う行事、決定事項などは受身形を使わないようにします。受け手は、「誰が決めたの？」と無責任さを感じるかもしれません。

要点7 命令的、否定的表現、権威的表現、押し付けがましいことばは使わない。

要点8 市が主体の事項に、受身形は使わない。

例1 (命令、否定表現を改める)

期日厳守の上、提出すること 期日までに提出してください。

ごみは適切に排出されたい。 ごみは適切に排出されるようお願いします。

厳禁とする。 ...しないようお願いします。

10日以降は受け付けません。 9日までに提出してください。(肯定表現にする)

貸出はできません。ただし、閲覧と複写は可能です。

閲覧と複写はできます。ただし、貸出はできません。(肯定表現を先に書く)

例2 (受身形を使わない)

市は、...について、次のように決定されました。

市は、...について、次のように決定しました。

当市においても、必要な検討がなされなければならないと考えています。

当市においても、必要な検討をしなければならないと考えています。

4 伝える相手考えた文書を 相手を思い浮かべて！

「外来語の言い換え」と同じように、文書をつくる时候にも、年代、職業などによる理解度の違いに配慮する必要があります。

誰に対して出す文書なのか、伝える相手を思い浮かべながら文書を作りましょう。ちょっとした工夫で気持ちの入った文書を作ることができます。

要点9 伝える相手を思い浮かべて文書を作る。

例	対象者が小学生	漢字にふりがなをつけたり、絵や写真で表現する(文字を少なく)
	対象者が高齢者	横文字をすくなくする
	不特定多数	広報は中学生が理解できる程度の表現が原則

5 文体は「です」「ます」体、口語体で 文語体、漢語体は権威的！

文体は、「である」より「です・ます」の方が、やさしい印象を受けます。外部への文書は「です・ます」を用い、「です・ます」と「である」を混同しないように注意する必要があります。

また、長く市で引き継がれている文書形式には、いわゆる「文語調」「漢語調」の表現が多少見受けられますが、日常生活では使いません。堅苦しい印象を与え、いわゆる「お上」の文書のイメージである権威的な表現にも通じます。

そのため、誰にでも分る口語体に統一します。ただし、例規文、議案文、公布文、訓令文、契約文、要綱文は例外として「である」を使用します。

また、文書の途中で、「です・ます」体を用いると不自然になる場合や、記書き、箇条書き部分には、「である」体を用いてもよいものとします。

要点 10 「です」「ます」体、口語体を基本とする。文語体、漢語体は使わない。

例	出席せられんことを	出席されるよう	出席するよう
	必要なる	必要な	...せしめる ...させる
	かくのごとき	このような	けだし 思うに、あるいは
	なかんづく	なかでも、とりわけ	みだりに みやみに、でたらめに
	枚挙にいとまがない	例を挙げたらきりがない	

6 カタカナ語には説明を

「パソコン」など日本語の中に定着していることばが別として、むやみにカタカナ語（外来語）を使わないようにします。特に、意味も十分調べずに自分の感覚で安易に使うことは禁物です。

使う場合には説明をつけます。

要点 11 カタカナ語には説明をつける。

例	文章に溶け込ませる
	写真展には、昔風のを懐かしむレトロな作品も多く出品され...
	括弧書きで加える
	最近ではドナーカード（死後の臓器・骨髄提供の意思を表示したカード）を持っている人が多くなり、...
	注記で説明する 注：アセスメント 事業が周囲に与える影響を評価すること

7 専門用語、略語は使わない 当たり前に使っていませんか？

専門用語や略語は、役所に限らず、さまざまな分野で使われ、話し手同士ですばやく意思を伝えることができるため、非常に便利なものです。

仕事で使えば使うほど聞きなれてしまい、つい市民にもあたりまえに使ってしまいます。しかし、専門用語や略語は、特定の人間にしか通じないことばです。

職員同士、関係業者との間では普通に通じるものであっても、市民にとってはなじみがなく、さっぱり分らないといったことが多いものです。

市民に通用しない専門用語や略語があることを意識して、市民に対しては別のことばで言い換えるか、分りやすい説明を加えてください。

要点 12 専門用語や略語は言い換える、または、分りやすく説明する。

例 1 (役所で使われる専門用語)

- ・行政用語 税目 税金の種類、聴聞 意見を聞くこと、供託、NPO, ...制度
- ・法律用語 罷免 やめさせること、起算、助成、諮問
- ・財政用語 起債、 費、超過負担、
- ・福祉用語 デイ・ケア、レセプト
- ・建設用語 管渠(かんきょ)工事、布設替え
- ・IT用語 ダウンロード、サイト

例 2 (役所で使われる略語)

職消 職権消除 国調 国勢調査 特徴 特別徴収 普徴 普通徴収
減免 減額免除 社協 社会福祉協議会 社教 社会教育(左記と混同)
国保 国民健康保険 マル退 退職者医療証 マル老 老人医療証
生保 生活保護(生命保険と混同)
児扶、児扶手 児童扶養手当(役所以外の人には分らない)
外登 外国人登録(該当、街灯と混同)
事件 届出事件(婚姻届、死亡届、住民異動届など個別の届出名称を使う)

あなたはどう思う

「取り壊しの届けを出してください」「無くなった届けをしてください」ではダメ？
税務課職員が市民に「家屋滅失届けを提出してください。」 怪訝な顔の市民...

「滅失」とは、法律用語で「火事・地震・取り壊しなど外的な力により、建物がなくなること。また、消滅したり所在がわからなくなって物がなくなってしまうこと。」で、届出の名称としてはよいのでしょうか。しかし、市民に対して話しをするときはどうでしょう？確かに、火事や地震で無くなってしまいうこともありますが、ほとんどは取り壊しですよ！

8 敬語の使い方を適切に 度の過ぎる敬語は逆効果！

敬語は、相手に失礼のないように使う表現ですが、度の過ぎる敬語は、丁寧すぎて逆に相手に不快感を与えます。

また、「貴殿」「令息」「参上」といった尊敬や謙譲の意味を含む漢語は、文語調でなじみのない表現なので、使わないようにしましょう。

要点 13 公用文としては、度の過ぎる敬語は使わない。

例 でございます。であります です
給う いただく あそばす する 召し上がる 食べる、飲む
みえる 来る ...いたす する まいる 行く
いらっしゃる ... (し)て、いる、来る、行く
おっしゃる、...申し上げる 言う うけたまわる 謹んで受ける
様のご臨席につき、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。
様のご出席をお願いいたします(申し上げます)。

要点 14 堅苦しい敬語は使わない。

例 御高覧 ご覧(ください) 御賢察 お察し(ください)
ご臨席賜りたく ご出席いただきたく
御来駕 おいで(いただき、くださり...)
賜らんことを (...して)いただくことを

要点 15 「お」「ご」(接頭語)を付けすぎない。つける場合は仮名を使う。

例 お名刺 おソース おジュース お紅茶 ご疑義 ご保護者

要点 16 敬語の使い方を間違わない。

例 (尊敬語と謙譲語の使い間違い)

3時までにかがって(謙譲)ください。 ...までにお越し(尊敬)ください。
受付で名前を申し上げて(謙譲)ください。 ...名前をおっしゃって(尊敬)ください。
(使ったり使わなかったり)
参加は、男子は20歳、ご婦人は30歳以上の方に限ります。

よく使う敬語の例

口語体	尊敬語	謙譲語
言う	おっしゃる	申す、申し上げる
行く	行かれる、いらっしゃる、おいでになる	うかがう、参る
来る	いらっしゃる、おいでになる	うかがう、参る
いる	いらっしゃる、おいでになる	おる、おります
受け取る	お納めになる、お受け取りいただく	いただく、頂戴する
聞く	お聞きになる	うかがう、うけたまわる
知る	(お知りになる) ご存知(になる)	存じる、存じ上げる
する	なさる	いたる
尋ねる	お尋ねになる	うかがう、お聞きする
食べる	お食べになる、召し上がる	いただく、頂戴する
見る	ご覧になる	拝見する
もらう	おもらいになる	いただく、頂戴する

敬語の種類

- 1) 丁寧語 言葉自体を丁寧にするもの
- 2) 尊敬語 相手の敬称、行為、状態などについて、敬意を表す
- 3) 謙譲語 自分がへりくだることで、相手に敬意を表す
- 4) 美化語 自分自身の言葉の飾り、また、上品に表現する場合に使う

9 やさしさ、分りやすさを追求しよう！

以上のほかにも、正確、平易、簡潔な文書を作るのに注意することがあります。

要点 17 漢語はやさしいことばに言い換える。

例 隠蔽する	隠す	庇護する	かばう	抹消する	消す
抵触する	触れる	漏洩する	漏らす	治癒する	治る
即応した	かなった	充当する	充てる	懇請する	お願いする
一環として	一つとして				

要点 18 音読することばでなく耳で聞いてすぐ分ることばを使う。

例 橋梁	橋	塵芥	ごみ	陳述する	述べる
充填する	うめる、つめる	瞳孔	ひとみ	瑕疵	きず、欠陥、誤り

要点 19 音読することばで意味がまぎらわしいことばはさける。

要点 20 同音異義語（川、皮） 異字同訓語（油、脂）のパソコンによる漢字誤変換に注意する。

例 1（同音の言い換え）

協調して 歩調をあわせて 「強調」とまぎらわしい
勸奨する 勧める 「干渉」とまぎらわしい
衷心から 心から

例 2（誤変換）

正確、性格 見る、観る、看る 聞く、聴く 要件・用件 決裁・決済
規定・規程 講演・公演・公園・後援 施行・施工・試行 健診・検診・検針
体制・体勢・態勢 保証・保障・補償 対象・対照・対称

要点 21 漢字は、常用漢字を基準とし、常用漢字外の表記はひらがなにする。

例 挨拶 あいさつ 隘路 あいろ 憂鬱 憂うつ

要点 22 漢字の量に気をつける。

多すぎると、それだけで難しい内容だという印象を読み手に与えてしまう。

要点 23 問合せ先は必ず明示する。

問い合わせ先や申込先が明示されていない文書は、不親切で無責任な印象を与える。担当課（係） 電話番号を入れる。

要点 24 ホワイトスペース（文書の白い部分）やレイアウト、図案も考える。

書体、文字の大きさ、行間文字間のバランス、十分な余白（ホワイトスペース）も分りやすい文書づくり要点です。スペースを惜しんで文字を詰め込むと読みにくくなります。市民向けのチラシや冊子等は、文章の分りやすさだけでなく、目をひく内容にする工夫も必要です。写真や図、表などを有効に使う。文書の体裁や印刷の仕方を工夫することも、相手に与える印象を大きく左右する。

要点 25 最後に必ず見直す。声を出して読んで見る。

文書を作成して、最後にすべきことは、「見直し」。毎年同じ時期に、同じ内容、様式で送る文書でも、年度の数字を書きかえる前に、もう一度読み直す。まず、受け手の立場にたって、本当に分りやすい文章なのかどうかを確認する。

ちょっとひと休み

『『超』文章法』（野口悠紀雄氏著）から
～「誤字・脱字を根絶せよ」～

「誤字・脱字は、真面目に書いていない証拠と受け取られる。」「人名の誤字がないように、細心の注意を払おう。とくに、ワープロを使っている場合にはそうである。ワープロの変換が正しいとは限らない。」

「宛名の漢字に平気な人と一緒に仕事をすれば、あとでこちらが被害を受ける可能性が強い。」
誤字、脱字がないか最後にもう一度見直しましょう。

あいさつ状・礼状・手紙（書簡）は？

仕事上であいさつ状などを出す場合に、いくら市の看板を背負っているからといって、公文書と同じように文書番号や公印が押されていたら、いかにも形式で、気持ちの届かない文書になってしまいます。

書簡は、私的に手紙を書くときと同じように書きます。公印や文書番号・記号はつけず、日付や差出人名も公文書と違い、文章の後に付けるのが一般的です。

分かりやすい文書ができたかな？ チェック 25

- 要点 1 結論を先に書き、趣旨や経過をあとで書いている。
- 要点 2 一つの文の中に二つ以上の違う事柄を入れていない。
- 要点 3 一文の長さは、50～60 字程度。
- 要点 4 接続詞「が」「ので」や中止法を何回も使っていない。
- 要点 5 内容が変わるところには段落をつけるか、小見出しで区切っている。
- 要点 6 まわりくどい、あいまいな表現はしていない。
- 要点 7 権威的な表現となりがちな命令形、否定形を使すぎている。
- 要点 8 市が主体の事項に、受身形は使っていない。
- 要点 9 伝える相手を思い浮かべて文書を作っている。
- 要点 10 「です」「ます」体、口語体を基本として、文語体、漢語体は使っていない。
- 要点 11 カタカナ語には説明をつけている。
- 要点 12 専門用語や略語は言い換える、または、分かりやすく説明している。
- 要点 13 度の過ぎる敬語は使っていない。
- 要点 14 堅苦しい敬語は使っていない。
- 要点 15 「お」「ご」を付けすぎている。
- 要点 16 敬語の使い方を間違っていない。
- 要点 17 漢語はやさしいことばに言い換えている。
- 要点 18 音読することばでなく耳で聞いてすぐ分ることばを使っている。
- 要点 19 音読することばで意味がまぎらわしいことばはさけている。
- 要点 20 同音異義語、異字同訓語のパソコンによる漢字誤変換はない。
- 要点 21 常用漢字外の表記はひらがなにしている。
- 要点 22 漢字の量に気をつけている。
- 要点 23 問合せ先は明示している。
- 要点 24 ホワイトスペース（文書の白い部分）やレイアウト、図案も考えている。
- 要点 25 最後に必ず見直している。

分かりやすい文書をつくるための心チェック 5

- 1 ことばは一人だけのものではなく、たくさんの人の ^{あいだ}間 を行き来するもの！
（自分だけが分っていてもダメ）
- 2 相手（聞き手、読み手）は、「新しいことばを知らない」とはなかなか言いづらい！
- 3 外来語の持つ「カッコよさ」を安易に求めない！
（逆に、受け手の誤解を招くばかりでなく、「カッコつけて」とか「^{けむ}煙に巻いて」とか、反感を買うことも...。）
- 4 市民は、市の仕事の内容を初めて知る。初めて聞く、読む立場になる！
- 5 自分の書く文書、話すことばが、「わかりやすいものであるか？」を常に自問自答する。

あなたのお役人度は？

役所生活も長くなるにつれ、役人^{かたぎ}気質にそまって、
いわゆる「お役所ことば」をあたり前に使うようになります。
自分の「お役人度」を試してみてください！

項 目	or x
一文が3行以上になると書いた自分をほめなくなる。	
「前向きに善処します」「今後十分に配慮する」ということばをよく使う	
主語を忘れるくらい、主語と述語の間に修飾語が多い。	
「できる」「できない」と断定する表現を使うには勇気がいる。	
具体的に期日を設ける約束は、口ではしても形には絶対残さない。	
議会の答弁がよ～く理解できる	
市民と話すときには、どんな言葉を使っても納得させる自信がある。	
カタカナ語や漢語を使った文書をつくると、「私って教養ある～」と自分にほれほれする。	

- が8個 これ以上いないレベル、最高に立派なお役人
 (ひょっとして悪代官 お主も悪よのうう～)
- が7個 幹部クラスです
- が4～6個 もう十分立派なお役人、中間管理職レベル？
- が1～3個 まあ平々凡々、一般的な公務員(ここから染まっていくのです)
- が0個 本当に公務員？(まわりくどいのは大嫌いなあなた、はっきりしすぎてものをズケズケ
 いいすぎないように)

お役人度が高いのがいいのか、低いほうがいいのか.....お分かりですよね。答えは、「ほどほど」!

あなたは どう思う 広報ふらの11月号から

- ・「ご」は3回もいる？
P11 協会病院からのお知らせ「ご不自由をおかけしますがご理解とご協力をお願いします。」
- ・問いと答えはこれでいい？
P11 問い「道路の整備について」 答え「都市施設課です」
基本的に見出しに「...ついて」はありえません。 例「舗装できないのでしょうか？」
「...おり」「...ところ です」を使い、回りくどい表現になっています。
一番問題なのは、問いに対して分りやすい答えになっていないこと!
- ・「行う」でいい？
P11 森林整備計画書の変更 「...するために変更を行う」 「行います」ですよね!
- ・「公示します」でいい？
P16 駅前駐輪場の冬期間の閉鎖 「放置している自転車は...条例に基づき公示します。」
例(手続きを経て)処分します(のでご注意ください)

広報は「中学生が理解できる分りやすい表現」を目安に編集され、全体的に「お役所言葉」はほとんどありませんでした。
事例は、他から依頼された原稿記事の推敲不足と思われます。(広報の名誉のために...)

第2章 実践編

実際に「お役所ことば」がどのように用いられているのか、平成17年度市政執行方針と議会専決処分報告を参考にして言い換えてみましょう。

お役所ことば見直しの実践例 平成17年市政執行方針

言い換え前	言い換え後
<p>はじめに</p> <p><u>ここに</u>、平成17年第1回富良野市議会定例会の開会にあたり、市政執行についての考え方を<u>申し述べ</u>、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力を<u>賜りたいと存じます</u>。</p>	<p>ここに 不要 申し述べ 述べ、 ...いただきたいと思いません。 (お願い申し上げます。)</p>
<p>基本的な考え方</p> <p>我が国の経済は、海外への輸出増加や大手企業の設備投資の増加などにより長引く不況から回復の兆しが<u>見られるものの</u>、地方では今だ実感するには至らず、雇用情勢も依然として厳しい状況<u>にあります</u>。</p>	<p>...見られますが、 ...です。</p>
<p>また、国の三位一体改革による国庫補助金負担金の交付金化や一般財源化、地方交付税の減額など、地方自治体を取り巻く環境も非常に厳しい状況<u>にあります</u>が、真の地方分権の進展に向け、地域が自らの責任に基づいて選択し行動をすることが、強く求められて<u>おります</u>。</p>	<p>...ですが、 ...います。</p>
<p>私は、市政の重責を担って以来、「市民が主役」のまちづくりを基本理念として、自治体経営を行って<u>まいりました</u>。</p>	<p>...きました。</p>
<p>今、NPOやボランティアの皆さんの積極的な活動の輪が、大きなエネルギーとなり富良野に活気をもたらして<u>おります</u>。</p>	<p>...います。</p>
<p>市民の皆さんと情報共有しながら、まちづくりを進めていくことが、自治を根付かせ、心豊かで活力ある地域を育てていく第一歩であると考えて<u>おります</u>。</p>	<p>...います。 (考えます。)</p>
<p>今後とも、市民参加・行財政改革・市民の目線に立った公平で公正な行政の推進を基本姿勢として、情報の共有による開かれた市政を進めるため、市民との対話を通して「ともに考え、ともに行動する」まちづくりに取り組んで<u>まいります</u>。</p>	<p>...いきます。</p>
<p>平成17年度は、昨年度に見直しを行った富良野市総合計画実施計画の中期・後期6ヵ年のスタートの年<u>であります</u>。</p>	<p>...です。</p>
<p>分権時代に対応した市民と行政の役割分担についても見直しが必要<u>であります</u>。市民と行政が対話を重ねながら、それぞれが何を担うのか、今までの仕組みを見直していかなければならないと考えて<u>おります</u>。</p>	<p>...です。 ...います。(考えます。) (...いかなければなりません) (...見直す必要があります)</p>

<p>また、人件費の削減をはじめ行財政改革による経費の節減に努める一方、適正な受益と負担の観点から、使用料・手数料<u>などについて</u>見直しをして<u>まいります</u>。</p>	<p>...なども ...いきます。</p>
<p>さらに、公平な税負担に向け、収納対策を強化するとともにまちづくりに必要な歳入の確保に努めて<u>まいります</u>。</p>	<p>...いきます。 (努めます。)</p>
<p>また、広域行政の推進に<u>つきましては</u>、本年4月から施行される合併新法や北海道からの事務権限の委譲など、自治体行政を取り巻く環境が一層厳しさを増す中、長期的・広域的な視野に立ち、圏域の一体的な発展に努めて<u>まいります</u>。</p>	<p>...については、 ...いきます。 (努めます。)</p>
<p>こうした中、将来の分権型社会において、市町村が<u>地域における</u>総合的な行政主体としての役割を担うための「基礎自治体のあり方」や「自治のかたち」について、沿線町村と協議・検討を行って<u>まいります</u>。</p>	<p>...地域で ...いきます。 (行います。)</p>
<p>また、本庁舎の老朽箇所改善のため、改修工事を実施するとともに、(中略)一部職場の分散配置を<u>行ってまいります</u>。市民の皆様にはご不便をおかけすることになりますが、広報での周知や案内を徹底して<u>まいりますので</u>、ご理解とご協力を<u>賜りたいと存じます</u>。</p>	<p>...いきます。(行います) ...いきますので、... ...いただきたいと思いません。</p>

お役所ことば見直しの実践例 議会専決処分報告

言い換え前	言い換え後
<p><u>本件は</u>、地方自治法第180条第2項の規定に<u>基づきます</u>自動車の物損事故の損害賠償<u>につきまして</u>、その内容を、<u>ご報告申し上げます</u>。</p>	<p>この件は、...基づき ...について ...報告申し上げます。</p>
<p>平成 年 月 日、 職員が、 敷地内の除雪作業中、市道 線において接触事故を起こし、相手車両の物損に対し損害賠償を行った<u>ものであります</u>。</p>	<p>...ものです。 (行いました。)</p>
<p>幸い、相手方(双方)に人身等の被害はなく、大事には至りませんでした。今後とも車両の運転には十分注意をし、事故の再発防止<u>につきまして</u>、安全運転管理を一層強化して<u>まいります</u>。</p>	<p>...について (のため) ...強化していきます。 (強化します。)</p>

お役所ことばテスト 1

次の文章を分かりやすい表現に改めてください。

問1 本件につきましては、各課におきまして責任者が担当しているところであります。
問2 市役所ロビーで拾得したポケモンのホルダーのついたピンクの携帯電話の入ったセカンドバックの持ち主を探しています。
問3 市でも、かかる状態は、早急に改善されなければならないと考えているところでございます。

答え（改めるときの要点）

答え1 この件については、各課の責任者が担当しています。 （必要のない語句はつけずに、簡潔に表現する。）
答え2 市役所ロビーで拾われたセカンドバックの持ち主を探しています。中には、ポケモンのホルダーのついたピンクの携帯電話が入っていました。 （修飾の語句が長すぎるときは、2つの文にする。）
答え3 市でも、このような状態は、すぐに改善しようと考えています。 （受身形は使わない。回りくどい表現をしない。）

お役所ことばテスト 2

次の通知文を分かりやすく、親しみやすい文書に改めてください。

	富 総 第 1 2 号 平成 17 年 12 月 1 日
花丸頂戴 殿	
富良野市 審議会委員の委嘱について（依頼）	
	富良野市長 高田 忠尚
厳寒の候 貴台におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。 平素総務行政につきましては格別のご尽力、ご高配を賜り衷心より厚くお礼申し上げます。	
さて、平成 16 年より委嘱させていただいております、富良野市 審議会委員の任期が、本年 3 月 31 日までとなっております。	
つきましては、富良野市 審議会条例（平成 14 年条例第 2 号）第 4 条第 1 項第 1 号に基づき、引き続き委員として、平成 18 年 4 月 1 日より 2 年間の任期をもって委嘱いたしたく、ご多忙のところ誠に恐縮に存じますが、3 月 15 日までにご承諾いただきますようよろしくお願い申し上げます。	

答え（参考例）

平成 17 年 12 月 1 日

花丸頂戴 様

富良野市 審議会委員の委嘱のお願い

富良野市長 高田 忠尚

厳寒の候 益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から総務行政にご配慮（又はご協力）いただき誠にありがとうございます。

さて、平成 16 年から委嘱させていただいている富良野市 審議会委員の任期が、本年 3 月 31 日までとなっております。

つきましては、富良野市 審議会条例に基づき、引き続き委員として委嘱したいので、ご承諾をお願いします。

なお、ご承諾いただける場合には、下記の書類の提出をお願いします。

記

1. 任 期 平成 18 年 4 月 1 日から 2 年間
2. 提出書類 承諾書
3. 提出期限 平成 18 年 3 月 15 日

参考

富良野市 審議会条例（平成 14 年条例第 2 号）

（委員）

第 4 条 委員は、次の各号に掲げるもののうちから市長が委嘱する。

(1) 学識経験のある者 10 人以内

解説

官庁間、自治体間でなく市民に対しての依頼文なので、文書番号、記号は適切ではありません。標題の（依頼）もお役所的ですので使わない方がよいでしょう。

あて名は「殿」でなく「様」にしましょう。

「貴台」は漢語調の敬語なので使うのを控えましょう。

「平素」は「日頃」のほうが親しみやすいでしょう。

「総務行政につきましては格別のご尽力、ご高配…」は敬語を重ねすぎてくどくなっています。

「にご配慮（又はご協力）いただき誠にありがとうございます。」程度で十分です。

条例を引用するときは「条項号」を書いても、委嘱する根拠が分かりません。該当条文を参考に書くか、写しを添付するほうが親切です。

「平成 16 年より」は「…から」が適切です。「より」は比較の際に使う助詞。

「おります」は、「いる」「います」に言い換えます。

「つきましては、…」以降は、一文が長すぎます。また、敬語の使いすぎです。

箇条書きで整理するなど分りやすくしましょう。

あくまで参考例です。「必ずこのとおりにしなさい」ということではありません。

状況や読み手の立場を考えて、あなたの言葉で分りやすい親しみやすい文書をつくりましょう。

美しい日本語で分かりやすい行政を

杉並区長 山田 宏

3年前の秋、ある区民の方から1通の手紙をいただきました。「区の広報紙はカタカナが多く高齢者には分かりにくい。数えてみたら、8ページに300近くのカタカナことばが使われていた。」とのご指摘でした。

そこで、私の机にある書類を調べてみると、あるわ、あるわ。「アカウントビリティ、スキーム、プレゼンテーション、アクションプラン…」次から次にカタカナことばがでてきました。特に福祉用語は、「ケアマネージャー、デイサービス、グループホーム」などカタカナだらけです。いかに日本の福祉が「輸入政策」であるかが分ります。とはいえ、介護支援を受ける方は、ほとんどが高齢者ですから、意味が分らなく戸惑っている方も多いのではないのでしょうか。「ケアマネージャー」ではなく「介護支援専門員」としたほうが、どんなに分かりやすいだろうかと思ったものです。

近年、本当に日本社会はカタカナの洪水に見舞われています。考えた末にどうしてもカタカナしかない場合もあるでしょうが、あまりにも安易に使いすぎているように思います。

先の「アカウントビリティ」は「説明責任」、「アクションプラン」は「行動計画」で十分説明ができます。安易なカタカナことばの使用は、すべての人にとって分かりやすい社会作りにはつながらないばかりか、日本人の考える力そのものを弱めることになりかねない由々しき事態だと思えます。

こうしたカタカナ洪水の責任の一端は行政にあります。そこで杉並区では、「まず役所がかわらなければ」と、 - 以下略 -

-引用-

「外来語・役所ことば言い換え帳」 巻頭より
編集:杉並区役所区長室総務課 発行:ぎょうせい

参考書籍一覧

外来語言い換え提案（第1回～第4回）

独立行政法人国立国語研究所「外来語」委員会 平成15年～平成17年

<http://www.kokken.go.jp/public/gairaigo>

外来語・役所ことば 言い換え帳

編集：杉並区役所区長室総務課 発行：株式会社ぎょうせい 平成17年

役所言葉をなくそう！ ～分かりやすく親しみやすい文書づくりをめざして～

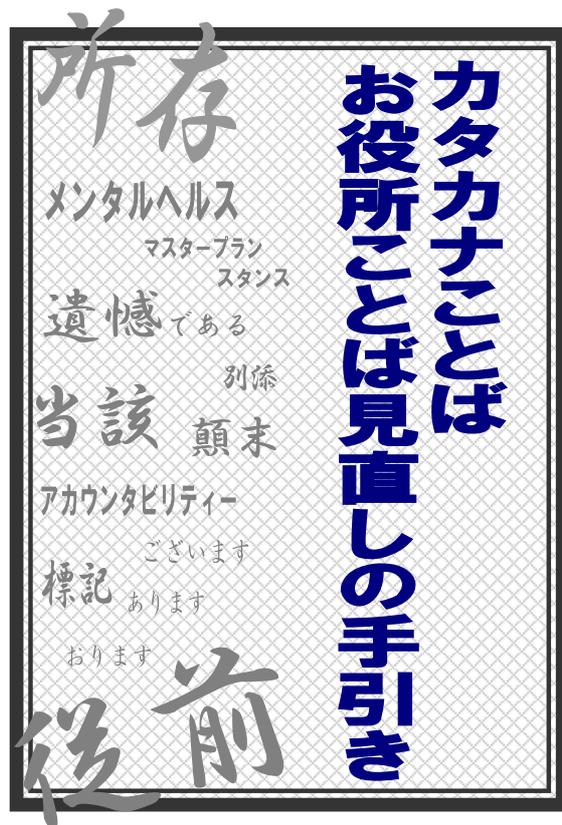
昭島市役所言葉見直しプロジェクトチーム 平成13年

<http://www.city.akishima.tokyo.jp/1110Shiryoshitsu/02300plane/03000400.htm>

いわゆる「お役所言葉」改善の手引

佐賀県経営支援本部総務法制課 平成16年

http://www.pref.saga.lg.jp/portal/ty-contents/WH/FWHM000601Action.do?CNT_ID=2583



カタカナことば・お役所ことば見直しの手引き

発行：平成18年3月

編集：富良野市総務部総務課